

春と思いきや雪が降る3月



今月は、施設とは違う話題を取り上げました。3月に入り、2度の雪が降りました。まだまだ降るのか心配です。世間では「地球温暖化」が新聞やテレビで騒がれていますが、果たしてそうでしょうか？私自身が地球温暖化を防止する活動をしたのは1997年でしたが、それから27年が経過し、地球は「寒冷化」に向かっています。日本では、寒冷化の報道が一切ありませんが、世界中では寒さが極限に達して観測史上最高の寒さを記録しているということです。そんな中で、ヨーロッパでは、石油の高騰が冬の暖房費を圧迫して、暖房が使えずに凍死してしまう高齢者や、主食のパンを焼くことが出来ずに廃業するパン屋さんなども多くあったということです。日本では、石油関連価格を税金で補っているので、価格が抑えられていて少しでも助かります。このガソリンや石油への税金投入を、価格が安値で安定するまで続けてほしいものです。

s
s
み
ら
い
新
聞

第127号
2024年3月
発行責任者
新津 尚

ショートステイ利用時の注意点について

ショートステイを利用する際、介護を受けることに重きをおくのであれば短期入所生活介護、医療ケアも必要であれば短期入所療養介護というように、必要度に応じた最適な施設を選びましょう。(ショートステイみらいは、「単独型短期入所生活介護」です) また、併設型か単独型かという違いも、利用料金に差が出るので事前に確認しておくことをおすすめします。介護保険におけるショートステイは連続30日まで、年間合計では90日まで(※介護認定期間が180日の場合)のご利用が可能です。利用限度日数を越える場合、越えた分の日数は全額自己負担となります。要介護度または利用中のほかの介護サービスによっては、利用可能期間が限られることも覚えておくようにしましょう。

利用に際しては着替えなどの私物を持ち込むこととなりますが、施設内で使用するすべての持ち物に記名しておくことが大切です。急遽ショートステイを利用することになった場合、記名作業に時間がかかることもあるため、備えとして、あらかじめ持ち物には名前を書いておく、持参するものをまとめておくなどしておきましょう。ショートステイは、利用方法次第では在宅介護の負担を減らしてくれる、とても便利なサービスです。介護する方、される方に合った施設を見つけて、上手に利用しましょう。また、ショートステイは入居中の利用者と同様のペースでスケジュールが進むため、時間配分にゆとりがあります。ショートステイみらいでは特に「いつもの家にいるような時間」を送って頂けるように配慮して運営をしています。ご不明点やご質問は、いつでもお尋ねください。